

「著作権法と文化の発展 ～写真の著作権と著作者人格権～」

■ねらい

- ・判断に迷う事例を読んで、文化の発展という観点から、著作権の意義を考えることが出来る。
- ・著作者の思いを大切にしながら行動するといった道徳的価値観・倫理観を養う。

■授業の流れ

時間	内容	準備・備考
10分	<p>1. 読み物教材を読んで著作権に関する事件を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・著作権法は文化の発展のための法律であることを振り返る。 ・読み物教材を投影し、ストーリーを紹介する。 <p>⇒SNSで写真を拡散した事例について 著作者と拡散者のどちらの主張を認めたほうがより文化が発展していくと思うかを考えさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●教師 <ul style="list-style-type: none"> ・大型提示装置 ・PC ・読み物教材（印刷） ●子ども <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末
10分	<p>2. 個人で読み物教材を読んで考えをまとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人でもう一度読み物教材を読みながら、ワークシート①に考えをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート
15分	<p>3. クラス全体で考えを共有する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・著作者、拡散者どちらの主張を認めるのか理由とともにタブレットに記入させる。 ・それぞれの主張について、考えを共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見共有アプリ (ロイロノート、Jamboard、Skymenuなど) <p>※友達の意見は随時ワークシート②にメモさせる。</p>
5分	<p>4. もう一度個人で考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の意見を聞いて改めて考え、ワークシート②に記入させる。 ・どちらの主張を認めるか、もう一度タブレットに記入させ、集計する。 	
10分	<p>5. まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・著作権は文化の発展のための法律であることを振り返る。 ・実際に起こった裁判であることを伝える。 <p>※判決は著作者の主張を認めたが、専門家の間で議論になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・著作者のことを考えて著作物と関わっていくことが重要であることを伝える。 ・授業で学んだことをまとめる。 	